

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		発達支援室クオール伊勢（くじら組）					公表日	2026年 2月 4日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	法令に従って十分なスペースを確保しています。	現状を維持していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	クラスごとに3人の常勤がいます。職員が休んでも対応できる余裕ある配置をしています。	必要に応じて個別対応が出来るようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	室内はバリアフリーです。自分の荷物を片付けるロッカーや下駄箱など目印のシールを貼り、わかりやすくしています。	配慮が必要な箇所があれば調整していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	こまめに消毒及び清掃を行っています。	心地よく過ごせる環境整備を心がけていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	お子さんの様子に応じたお部屋で過ごすことができます。	今後も、お子さんの様子によりお部屋を使用していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	日々、職員間で情報を共有し、ケースカンファレンスを定期的に行っています。	今後もよりよい支援になるようにしていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に一度、保護者の方にアンケートにご協力して頂き、ご意見を受け止め、業務改善に努めています。	事業所アンケートを継続して実施します。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	スタックミーティング等を毎月、開催しています。	スタックミーティングの中で、意見を活発に出すことができる環境を整えます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	第三者による外部評価は行っていません。	必要に応じて検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月に一度、研修会とスタッフミーティングを実施しています。	今後も職員の資質向上に努めます。		

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		発達支援室クオール伊勢（くじら組）					公表日	2026年 2月 4日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページに公表しております。	子どもたちの変化により適応しているプログラムになるようにしていきます。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	お子さんの成長・発達に応じてアセスメントを行っています。	アセスメントを適切に行い、支援計画を作成していきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	毎月、カンファレンスを持ち、児童発達支援管理責任者を中心に話し合い共通理解を図っています。	普段から小さな事でも、職員同士が報告しあえる関係性を大切にしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	児童発達支援計画を基に、個々に合わせた支援を行っています。	支援計画に沿った支援を考えていきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	事業所独自の物を使用しています。	お子さんや保護者の方の状況やご要望を理解できるためのアセスメントを心がけます。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	保護者の方のご要望を大切に、お子さんに必要な支援の内容をわかりやすい文章で表記するようにしています。	ガイドラインに沿った支援内容を設定していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	支援にあたる職員で意見を出し合い、より良い内容になるようにしています。	職員間で意見が出しやすい環境作りをしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	お子さんの特性や発達に合わせながら、季節を感じられる製作や音楽、体操などを取り入れています。	既成概念に捕らわれず、お子さんに必要な内容を考えていきます。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	特性及び発達状況に合わせて個別と集団のバランスを考えて計画しています。	現状を維持していきます。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	主担当の職員を中心に、その日の内容、動きを確認、共有しています。開始前にその日の流れや役割を必ず確認しています。	職員間での連携を大切にしています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日行われた支援について振り返り、気づいた点を共有し次につなげています。	療育後は必ず、課題や改善点を共有していきます。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の活動記録をとり、成長や発達に合わせた内容の見直しをしています。	現状を維持していきます。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に一度モニタリングを行い、振り返りや今後の課題を保護者の方と共有しています。	現状を維持していきます。		

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		発達支援室クオール伊勢（くじら組）				公表日	2026年 2月 4日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	担当者会議での内容を支援に生かせるようにしていきます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	医療的ケア児のご利用はありませんが、重症心身障がい児に関しては、お家の方を通して連絡体制をとっています。	今後も医療的なことについては連携して支援していきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者の方を通して、支援内容の情報共有と相互理解をする場合と、直接、学校の先生とお話をする場合があります。	今後も、必要な事柄について情報の共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	1	センターが主催し案内してくれる研修会には、できる限り参加しています。	現状を維持していきます。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	保育園・幼稚園との併行通室の子ども達ですので、特に機会は設けていません。	必要に応じて実施していきたいです。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	保護者の方には送迎時や連絡ノートで情報を共有しています。個別面談もしています。	現状を維持していきます。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	ご家庭での困りごと等については個別にご相談の時間を作っています。	今後も継続していきます。	

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		発達支援室クオール伊勢（くじら組）				公表日	2026年 2月 4日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時にお話をしています。	現状を維持していきます。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	個別支援計画を作成するにあたり、保護者の方からご意見・ご要望をお聞きして作成しています。	ご要望に確実に応えられるように努力していきます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	お子さんや保護者の方の要望を確認し、長期及び短期目標を保護者の方と共有し、同意を頂いています。	今後も、支援内容を明確に計画書を示し、ご理解頂けるようにしていきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	ご相談にはその都度、対応しています。必要に応じて個別面談の時間を設けています。	現状を維持していきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者会はありませんが、2024年度から交流会を開催しています。	今後も保護者交流会を計画していきます。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情に関しては相談窓口を設けています。	いつでもご相談をしてもらいやすい関係作りを目指します。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	毎月、お便りを発行し、子どもたちの様子をお知らせしています。	今後も継続していきます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報を書かれた書類は鍵付きのロッカーに保管し、廃棄書類はシュレッダーを使用しています。	現状を維持していきます。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	その日の療育内容や子どもたちの様子、連絡事項は連絡帳で保護者に伝えています。	現状を維持していきます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	ご招待はしていませんが、地域の方との関係を大切にしています。	地域の方々にもご協力頂ける関係作りを目指します。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し、職員に周知すると共に、毎月、訓練を実施しています。 年に1回、消防署の方から「AED」の研修も受けています。	定期的な訓練を今後も継続していきます。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	避難訓練は毎月実施し、一年に一度、消防署と連携した訓練を実施しています。	今後も非常災害の発生に備えて定期的に訓練を実施していきます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	ご利用開始時にお子さんの状態についてお聞きしております。	日々の体調や服薬等について確認することを継続していきます。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	保護者からの申し出に対応しています。	現状を維持していきます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	子どもの安心・安全マニュアルを作成し、研修及び訓練を実施しています。 防災リュックを準備し、定期的に見直しや確認をしています。	必要に応じて見直しをしていきます。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	お便りで安心・安全計画を配布し、マニュアルはいつでも閲覧して頂けるように配置しています。	月1回避難訓練を実施し、その様子を保護者に伝え、周知徹底を図ります。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事故報告書、インシデント報告書を使用して、危険事項の共有をしています。	今後も継続していきます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を作り、意識向上のための研修を実施しています。	今後も継続していきます。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	医師の指示の元、必要場合は保護者の同意書を頂き、計画書に明記しています。	現状を維持していきます。	